

クリンソウ	<i>Primula japonica</i> A.Gray	準絶滅危惧
		サクラソウ科
選定理由	分布域の一部において生育環境の悪化や、採取により、自生種の存続が困難である。	写真(高橋弘)
形態の特徴	丈40~80cmになる大型の多年草。葉は根生し長さ15~40cm。倒卵状の長楕円形で基部は柄状にせばまる。花茎は40~80cm。花は上部に数段の層をなして輪生する。花冠は紅紫色~淡紅紫色、白色。花期は5~7月。	
生態的特徴	山地や亜高山帯の湿地に生育する。	 
分布状況	日本特産種で北海道、本州、四国に分布する。岐阜県では飛騨地方、個体数は少ないが美濃地方の西部、南中部、南東部にも見られる。	
減少要因	開発による湿地の減少、湿地の乾燥による草地化、山野草として採集されるなど、自生地での確認が困難になっている。	
保全対策	温暖化による生育地の草木の繁茂の手入れ、ことに笹類の繁殖は笹刈りなどで定期的な保全を要する。採取防止に分布公表は配慮を要する。	
特記事項	種子に発芽力があるため、園芸的に多く栽培されているが、自生地の環境は悪化している。	
参考文献	保育社: 野草図鑑(7) 東京新聞社出版局: 高山植物 平凡社: 野生植物Ⅲ	

文責: 大澤律子